ハチの見分け方

小峰公園でよく見られる3種の見分け方を紹介します。

POINT 1.腰にくびれがあり、「毛並み（見た目）」はどっち？

ツルツルグループ

モコモコグループ

ミツバチ・ハナバチの仲間（花に集まる）



POINT 2.「色や体の細さ」はどっち？

黒や青、腰が糸のように細いグループ

ツチバチ・ドロバチの仲間（おとなしいハンター）

黄色と黒のシマシマグループ

アシナガバチ・スズメバチの仲間（攻撃的な社会性ハンター）



観察するときの注意点

①【うごかない】

見かけたら、まずは立ち止まります。その場で動かずにじっとしていると、ハチは「敵じゃないな」と判断してどこかへ飛んでいきます。

②【巣には近づかない】

もし、巣を見つけたら最低でも１ｍぐらいは離れた安全な場所から、そーっと観察しましょう。

③【黒い服は避ける】

ハチ観察に行くときは、黒い服や黒い帽子を避け、白や黄色など明るい色の服を着るようにしましょう。

ハチがいるということは…

ハチは環境の変化に敏感です。ハチの種類や数を調べることで、その地域の自然環境が良好かどうかを知る手がかりになります。

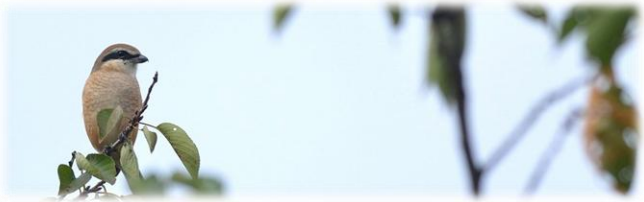
花粉や花の蜜が好きなハチが移動することで、農作物を含む植物の繁殖を助けています。



イモムシやコウチュウの幼虫などを捕食することで、爆発的な発生を抑え、生態系のバランスを保ちます。



ハチは、鳥やその他の生きものたちの食料にもなり、地域の生物多様性のつなぎ役を担っています。



ハチは、自然環境や農業などの様々な場面で大切な役割を持ち、私たちの暮らしを支えている生きものです。

小峰で暮らす ハチのなかま



ハチの魅力を発見しませんか？





小峰ふれあい自然郷
都立小峰公園・小峰ビジターセンター

〒190 - 0152　東京都あきる野市留原284 - 1
TEL：042（595）0400

指定管理者：公益財団法人 東京都公園協会 Tokyo Metropolitan Park Association

2026年10月

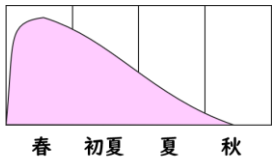
小峰で暮らす ハチのなかま

⚠…見かけたら特に注意が必要なハチ

セイヨウミツバチ
ミツバチ科



観察場所：
ふれあい広場などの花
観察時期：

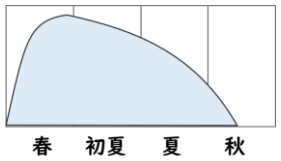


食べもの：
幼虫/成虫が集めてきた花の蜜など
成虫/花の蜜

キンケハラナガツチバチ
ツチバチ科



観察場所：
全域、花粉の多い花
観察時期：

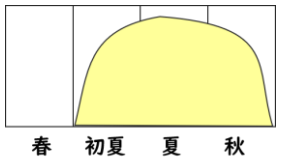


食べもの：
幼虫/土の中にいるコガネムシの幼虫など
（成虫がコガネムシの幼虫などに直接産卵）
成虫/花の蜜など

キアシナガバチ ⚠
スズメバチ科



観察場所：
全域、広場の生垣など
観察時期：

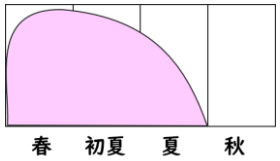


食べもの：
幼虫/成虫がイモムシをかみ砕いて作った肉団子など
成虫/花の蜜、樹液など

キムネクマバチ
ミツバチ科



観察場所：
桜尾根、ふれあい広場などの花
観察時期：

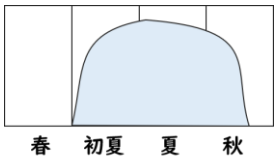


食べもの：
幼虫/成虫が集めた花粉の団子など
成虫/花粉、花の蜜

オオフタオビドロバチ
スズメバチ科



観察場所：
全域、しの竹など細長い穴のある場所
観察時期：

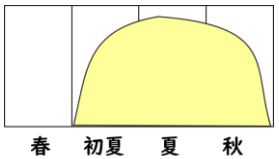


食べもの：
幼虫/成虫が巣に運び込んだガ類のイモムシなど
成虫/花粉、花の蜜など

チャイロスズメバチ ⚠
スズメバチ科



観察場所：
けやき広場、樹液の出ている木など
観察時期：



食べもの：
幼虫/成虫が昆虫をかみ砕いて作った肉団子など
成虫/樹液や花の蜜など甘い汁